



☆園長のことば☆

平成 28 年度 竜光保育園 第 620 号

あけましておめでとうございます。ひっそりとしていた保育園にも、子どもたちのきらきらとした笑顔や楽しげな声に戻ってきました。今年度も残り少しとなりましたが、職員一同、保護者の皆様と共に子どもたちの一日一日の成長を喜び合いながら過ごしていきたい所存です。

さて、先日ある席で「3歳児神話」(さんさいじしんわ)という言葉が話題となりました。この考え方は、子どもが3歳になるまでは保育所等に必ず母親が子育てに専念すべきであり、そうでないと成長に悪影響を及ぼすというものです。時々私も「3歳にも満たない子どもをあずけるなんて…」といった類のことを耳にします。3歳児神話は、今から60年以上前に英国のある精神科医が提唱した説で、それがしだいに湾曲され流布されていったと聞きます。しかし、平成10年に刊行された厚生白書において、3歳児神話には合理的根拠はないと表記されました。長くなるので詳しくは述べませんが、幼少期に母親に家でずっと育てられた子どもと、母親が就労のため保育園に預けられていた子どもを一定期間追跡調査した結果、子どもの発達における影響の違いは見られなかったそうです。違いが見られたのは、家族でいっしょに食事をとっているかまたは、育児相談をする相手がいるかなどの環境に負うところが大きかったといえます。ここで述べたいのは、どちらの育て方が良いとか悪いとかでは決してありません。保護者にたっぷりと愛情をかけてもらい育っていくのが子どもにとって幸せなことは誰もが疑う余地のないことです。しかしそれは決して時間の長短ではないと思います。たとえ短い間であっても、子どもたちをしっかりと抱きしめ、安心をさせる言葉かけを行う、時には十分ではないかもしれませんが、子どもたちにはきっとその愛情が伝わっていくはずですよ。

最後にもう一言。人間は、社会(集団)の中での他者との関わりにおいてしか生きていくことはできません。それは3歳未満児の子どもたちのコミュニティにおいてもしかりです。(※1歳から自我の芽生えはあります)時にはその中で相容れず、衝突し心身共に傷ついていくこともあるでしょう。しかし、様々な個性との出会いや環境の中で培われていった人間関係や信頼関係は、たくましくかつ様々な個性をも認め、許し合える大人へと成長する糧と必ずなるはずですよ。そんな子どもたちの保育環境を、専門性をもって日々構築していくのが私たち保育に携わるものの使命だと思うばかりです。



1月の行事予定

- 4日(水) 始園
- 10日(火) 体操教室
- 16日(月) 誕生会
- 17日(火) かるた会(新道寺小1年生来園)
- 18日(水) 身体測定
- 24日(火) 体操教室
- 28日(土) 交通安全教室・試食会  
(年長児保護者対象)
- 中旬 避難訓練
- ☆2/18(土) 保育参観・作品展を予定しています。

《～この花知ってる?～vol.9》

【梅】



中国が原産で遣隋(唐)使が持ち帰ったと伝えられています。梅雨の名の由来は、梅の実のなる頃に雨が多いことからだそうです。福岡県の県花となっています。

グループホーム「あしたば」でのお餅つきに参加



本堂での合同礼拝



緊張感漂う音楽祭本番 最後のリハーサル

おすすめ絵本のコーナー



《しんでくれた》

作：谷川 俊太郎 絵：塚本やすし 出版社：佼成出版社  
だれもがこのタイトルを見て一瞬、「ドキッ」とするのは…。著名な詩人の谷川俊太郎さんの作で、やや表現や絵のタッチなどが子どもたちにはきついのかもしれませんが、金子みすゞさんの詩の世界に通ずるものがあり、「すべてのいのちに感謝を!」という思いがひしひしと伝わってくる内容です。

《チャレンジミッケ! ミッケだいすき(1)》

作：ウォルター・ウィック 訳：糸井 重里 出版社：小学館  
写真の中に隠れている様々なものを探していく、シリーズ累計800万部突破の《探しっこ》絵本です。  
子どもたちがもの名前を覚えたり、数を数えたりする学びにもつながるこの絵本は、大人でも十分に楽しめます。むしろ、子どもの視点だからこそ探すことができるものもたくさんあると思いますよ。

